

お客様各位

2024 年 1 月

BNP パリバ・アセットマネジメント CEO

サンドロ・ピエリ

2023 年も世界の金融市場において、急激かつ大きな変化が起きた 1 年となりました。新型コロナウイルスの感染拡大以降に表面化した持続可能性（サステナビリティ）、人工知能（AI）、地政学、人口動態という 4 つの大きな変化は、規制環境の強化と相まって、マーケット及びアセットマネジメント業界に大きな影響を与え続けています。

こうした昨年の混乱の中で、私たちは度々変動するマーケット環境と対峙し、様々な課題を乗り越えることでお客様からお預かりした資産に対して可能な限り最高のパフォーマンスをお届けしてまいりました。以下、BNP パリバ・アセットマネジメント（BNPP AM）が実現してきた成果を取り上げたいと思います。

- インフレと金利上昇という困難かつ不確実なマクロ経済環境において、BNPP AM のマネーマーケット戦略や他の債券戦略は極めて良好なパフォーマンスを記録しました。当社の債券部門の最高投資責任者（CIO）である Olivier de Larouzière は、「*Funds Europe*」誌による年間最優秀 CIO に選出され、評価を高めました。
- 私たちは、「the sustainable asset manager for a changing world（変わりゆく世界に貢献するサステナブル・インベスター）」としての強化に取り組みました。環境・社会・ガバナンス（ESG）に着目した投資戦略の幅を拡大し、ESG 投資を行う債券 ETF にもフォーカスしています。また、当社の投資ポートフォリオや投資商品における更なる ESG 統合をサポートするため、ESG データの品質向上のための投資を継続しました。



BNP PARIBAS
ASSET MANAGEMENT

The sustainable
investor for a
changing world

- 私たちは、BNP パリバ・グループの専門知識を結集し、プライベートアセット部門を立ち上げました（運用残高は約 350 億ユーロ）。また、BNPP AM は生物多様性投資の専門家であるインターナショナル・ウッドランド・カンパニー（IWC）の株式の過半数を取得し、当社のプライベートアセットの商品ラインナップに自然資本に関する投資戦略を追加しました。
- BNPP AM では、ポートフォリオマネージャーの日々の投資判断をサポートし、リスク管理プロセスを改善するため、情報テクノロジー（IT）への投資を継続しました。一例として、現在、自動または半自動で行われる取引の数が増加しています。
- 中国第 4 位の金融サービスグループである中国農業銀行（ABC）との合併事業（JV）が業務を開始し、ABC の現地ウェルスマネジメント部門のお客様向けに初めてファンドを設定しました。

私たちが 2023 年に推進してきたこうした移行（トランジション）は、2024 年も継続することになるでしょう。

そのため、お客様が私たちの世界や業界の「新たな現実」に直面するのに役立つような長期的な投資ソリューションを提供すべく、日々努力を続けてまいります。こうした新たな状況における BNPP AM のインサイトをまとめた [2024 年投資環境見通し「新たな現実への第一歩」](#)も是非お読み頂ければ幸いです。

その他、当社より皆様にお届けする私たちの進化を以下に挙げさせていただきますので、ご期待ください。

- BNPP AM の「グローバル・サステナビリティ戦略（2023-2025 年）」を公表しました。ここでは、サステナビリティへのアプローチにおいて、より透明性を持って科学主導であるという目標に向けて、当社がどのように取り組むかをご説明しています。この戦略により、当社がお客様のために運用する資産において、リスク調整後の超過収益を向上させることができると考えています。また、この収益は投資リターンにとどまらず、環境や社会にプラスのインパクトをもたらすことも可能です。BNPP AM はネットゼロに向けた持続可能なソリューションを開発する一方で、「Equality（平等）」のアプローチをまとめたロードマップを公表する予定です。当社は今後も投資先企業とのエンゲージメントを継続し、ESG パフォーマンスの向上を促すとともに、当社自身の業務運営におけるサステナビリティ向上も追及し、「有言実行」を続けてまいります。
- 当社の各主要戦略（高い確信に基づくアクティブ運用、システム・クオンツ投資、マルチアセット、エマージング・マーケット、プライベートアセット）における運用チームの質の高い貢献を通じて、お客様の資産にプラスのパフォーマンスを提供するよう努めます。また、当社の ETF シリーズの商品開発も継続してまいります。

- BNPP AM が新しく立ち上げたプライベートアセット部門は、景気サイクルの影響を受けにくい投資戦略を提供することが可能です。オルタナティブ資産のカテゴリーにおいても、完全に持続可能な商品レンジを提供できるよう、森林投資も含めて、一連のファンド設定を進めてまいります。
- BNPP AM のすべての IT アプリケーションをクラウドに移行するプロジェクトを無事に完了したことで、サイバーセキュリティのリスクを制御しつつ、データ利用を強化することが可能になりました。これにより、非財務情報の開示など、より良いサービスの提供を加速していく所存です。

お客様からお預かりした資産を守り、不確実で不安定なマーケット環境を乗り切るため、これまで以上に注力している BNPP AM の各部門を代表して、お客様やその関係者の皆様の 2024 年のご多幸をお祈り申し上げます。

ご留意事項

- 本資料は BNP Paribas Asset Management France が作成した情報提供用資料を、BNP パリバ・アセットマネジメント株式会社が翻訳したもので、特定の金融商品の取得勧誘を目的としたものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- BNP パリバ・アセットマネジメント株式会社は、翻訳には正確性を期していますが、必ずしもその完全性を担保するものではありません。万一、原文と和訳との間に齟齬がある場合には、英語の原文が優先することをご了承下さい。
- 本資料における統計等は、信頼できると思われる外部情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性や完全性を保証するものではありません。
- 本資料には専門用語や専門的な内容が含まれる可能性がある点をご留意ください。
- 本資料中の情報は作成時点のものであり、予告なく変更する場合があります。
- 本資料中の過去の実績に関する数値、図表、見解や予測などを含むいかなる内容も将来の運用成績を示唆または保証するものではありません。
- 本資料で使用している商標等に係る著作権等の知的財産権、その他一切の権利は、当該商標等の権利者に帰属します。
- BNP パリバ・アセットマネジメント株式会社は、記載された情報の正確性及び完全性について、明示的であるか黙示的であるかを問わず、なんらの表明又は保証を行うものではなく、また、一切の責任を負いません。なお、事前の承諾なく掲載した見解、予想、資料等を複製、転用等することはお断りいたします。
- 投資した資産の価値や分配金は変動する可能性があり、投資家は投資元本を回収できない可能性があります。新興国市場、または専門的なセクター、制限されたセクターへの投資は、入手可能な情報が少なく流動性が低いため、また市場の状況（社会的、政治的、経済的状況）の変化により敏感に反応しやすいため、より不安定性があり、大きな変動を受ける可能性があります。
- 環境・社会・ガバナンス（ESG）投資に関するリスク：ESG と持続可能性を統合する際、EU 基準で共通または統一された定義やラベルがないため、ESG 目標を設定する際に資産運用会社によって異なるアプローチが取られる場合があります。これは ESG と持続可能性の基準を統合した投資戦略を比較することが困難であることを意味しており、同じ名称が用いられていても異なる測定方法に基づいている場合があるということです。保有銘柄の ESG や持続可能性に関する評価において、資産運用会社は、外部の ESG 調査会社から提供されたデータソースを活用する場合があります。ESG 投資は発展途上の分野であるため、こうしたデータソースは不完全、不正確、または利用できない場合があります。投資プロセスにおいて責任ある企業行動指針を適用することで、特定の発行体やセクターが除外される場合があります。その結果、当該指針を適用しない類似の投資戦略のパフォーマンスよりも良くなったり、悪くなったりする場合があります。

BNP パリバ・アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者：関東財務局長（金商）第 378 号

加入協会：一般社団法人 投資信託協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会、日本証券業協会、一般社団法人 第二種金融商品取引業協会